

『世界数学者事典』 正誤表

以下の箇所に誤りがありました。お詫びして訂正します。

◆第1刷

ページ	行	誤	正
p.071	↓ 19	ジャン=ロスタン賞	ジャン・ロスタン賞
p.190	↓ 17	東京大学講師	東京教育大学講師
p.286	脚注 27)(最終行の文末に次を挿入)		(訳注) チューリングが自殺したことは推定の段階であり確証はないようである。
p.309	↓ 3	1899	1891
p.309	脚注 42)	ちくま学芸文庫	瀏野昌訳, ちくま学芸文庫
p.330	↓ 10	国際科学研究所	高等科学研究所
p.414	↓ 10	文化勲章受賞	文化勲章受章
p.443	↓ 20	フェナキスティコープ	フェナキスティスコープ
p.494	↓ 17	マルセル・リース	ラーズ・ゴールディング
p.528	↑ 4	1926 年から	1924 年から
p.601	↓ 1, 2	天文学者ルモニエの 40 歳の末の娘は	40 歳近く年下の, 天文学者ル・モニエの娘は
p.679	↑ 7 (山辺英彦の次に追加)		鈴木通夫
p.691	右段 ↑ 9	日恒	(日偏に恒の 1 字, 258 ページ参照)

◆ 2017 年 4 月追加

ページ	行	誤	正
p.174	↓ 12	1921 年生	1921 年生—パリ 2016 年没
p.207	↓ 15	1923 年生	1923 年生—モスクワ 2017 年没
p.238	↓ 11	19776 年	1976 年
p.591	↓ 7	1957 年生	1957 年生—パリ 2016 年没
p.591	↓ 11	(追加)	1994 年からコレージュ・ド・フランス教授
p.628	↓ 3	1489 年生	1492 年生
p.628	↓ 11~13	24 版まで版を重ねた主著である『未知数』(Coss)において, 彼はアラビア数字の使用法と演算法を解説する。	1522 年出版の『線上と羽ペンによる計算書』は計算盤(アバカス)による計算とインド・アラビア数字による筆算の解説書であり 112 版まで出版されている。1525 年に書き上げた『未知数』(Coss)は代数方程式を扱っているが出版されたのは 1992 年になってからである。
p.628	↓ 24	『未知数』(1524), <i>Die Coss</i>	『線上の計算書』(<i>Rechnung auff der linihen</i>)1518 『線上と羽ペンによる計算書』(<i>Rechnung auff der linihen und federn</i>)1522 『未知数』(<i>Coss</i>)1524 (出版は 1992) 『線上と羽ペンによる計算書』(<i>Rechnung nach der lenge/ auff den Linihen vnd Feder</i>) (別名『演習書』(<i>Practica</i>)) 1550
p.632	↓ 4	2 階の微分方程式を 1 階の微分方程式に	未知関数の 2 乗が入った方程式(下を参照)を 1 階線形方程式に
p.663	↑ 7	1925 年生	1925 年生—インヴァネス(スコットランド) 2015 年没

◆ 2018 年 9 月追加

ページ	行	誤	正
p.035	↓ 6	ADUBARIUS	ARDUBRIUS
p.053	↑ 6	(1941–1945)	(1945–1947)
p.056	↓ 13	1816 年没	1818 年没
p.061	↑ 4	<i>The principales of empirical logic</i>	<i>The principles of empirical logic</i>
p.069	↑ 4	<i>Problème universel des mathématiques</i>	<i>Problème universel des mathématiques</i>
p.072	↓ 10	ポストから左遷される.	ポストを解任される.
p.072	脚注 81	大嶋磨起・大嶋浩訳	大嶋磨起, 大嶋浩訳
p.114	↑ 3	<i>géométrie</i>	<i>géométrie</i>
p.131	↑ 9	<i>Mathematics and the dilemma of</i>	<i>Mathematics and the dilemma of</i>
p.137	脚注 62	Lubliniec	Lubliniec
p.138	↓ 15	<i>What is mathematics</i>	<i>What is mathematics?</i>
p.162	↑ 9	<i>Sur l'homme et le développ</i>	<i>Sur l'homme et le développe</i>
p.180	↑ 2	かつての	かつての
p.220	↑ 5	Journalfür	Journal für
p.277	脚注 18	RANDCooperation	RAND Corporation
p.279	↓ 6	(<i>Iesus Puer</i>)	(<i>Jesus Puer</i>)
p.371	↓ 6 ~ 7	すると E がヒルベルト空間であれば,	すると (e_n) がヒルベルト基底であれば,
p.371	↓ 9	が成り立つことである.	が成り立つ.
p.381	↓ 6	1792 年生	1791 年生
p.481	↓ 5	<i>The developpment of mathematics</i>	<i>The development of mathematics</i>
p.481	脚注 118	Iohann Heinrich RAHN	Johann Heinrich RAHN
p.482	↓ 8	12 才	12 歳
p.493	↓ 19 ~ 21	またいくつかの結果を導いた者については疑わしいところがある. ヤーコブとは反対にヨハンはその出所に言及することは稀であり多くの発見を自分のものとした.	ヤーコブとは反対にヨハンは出所に言及することは稀であり多くの発見が彼のものとされているが, そのなかのいくつかの結果を導いた者については疑わしいところがある.
p.525	↑ 9	1761 年生	1781 年生
p.530	脚注 175	『確率と確実性 (文庫クセジュ)』弥永昌吉, 高橋礼司訳,	『確率と確実性』弥永昌吉, 高橋礼司訳, (文庫クセジュ)
p.557	↓ 3		(追加) —カリフォルニア 2017 年没
p.573	↑ 7	日本学士院賞を受賞している.	日本学士院賞を受賞している. 文化功労者.
p.616	脚注 22, 23	片山孝次訳, 1978	片山孝次訳, 岩波書店, 1978
p.661	↑ 4	1925	1525
p.661	↑ 3	1945	1545
p.691	右段 ↓ 17	志村五郎 203	志村五郎 204